

## 《臨時総会を兼ねたアンケートのまとめ》

全員の皆さんがアンケートに答えて頂き、また貴重なご意見をありがとうございました。  
アンケートの結果と自由記載欄に書かれたものをそのまま掲載させていただきます。

問1 運営委員会の方針について賛成・反対のいずれかに○をしてください

賛成	33人
反対	8人
休団中	2人
運営委員	12人
合計	55人

※①運営委員の数（12人）は除いてあります  
②3人の先生からもご意見を頂きました。

問2 反対理由、問3 実施・中止に関わらず考慮すべき事項、その他のご意見ご要望

### 《賛成の表記の方の自由記載分》

●運営委員の皆様本当にご苦勞をおかけしています。

すべてコロナの収束が見られない限り前には進めない気がします。51周年については改めて検討し、できる範囲で実施できれば最高です。

●運営委員の方々この度は大変ご苦勞なことと思います。岡野中学校の音楽室が使用できず、練習再開できない場合は51周年定演中止するに賛成。政府のコロナウイルス感染症対策では換気が悪い密閉空間や人の密集等感染リスクを高める条件が重なった場を避けること徹底することを求めています。近距離での会話や発声等があり思い切った練習もできず定演は無理なような気がします

●基本的には運営委員会に賛成する気持ちです。ただ定演の課題は練習会場を確保できないことだけではないと思います。6月14日までにコロナウイルスが終息できるかではないでしょうか。団員の平均年齢が後期高齢くらいですが、来場者も高齢者の方が多いです。私のお客さまも80歳以上と70歳代の方が殆どです。チケットをお願いすることになりますが、高齢者のリスクが大きいコロナ感染を皆様も不安に思われていると思います。こちらとしてもお声をかけづらくなりチケット売りづらいです。完全に安心となれば実施してもよいと思います。そうでなければ今年の定演はやむをえず中止にしてもよいと私は思います。

●いつも適格なご判断を下される運営委員会のご意見にお任せ致します。先の見えない現状には、ご苦勞が沢山お有りかと存じます。

●定演の実施の場合日曜日の追加練習ですが、日曜日にやっている事がある為全部参加は厳しい状況をご承知して頂きたいと思います。

●電車での外出を控えていましたので、いざ混雑する電車に乗るとなるとやや不安があります。

●中止にせよ実施にせよ大変なことがいろいろ考えられます。団員、お客さんにとって安全・安心であることを第一に考えていけたらと思います。

●役員の方に一任します。開催される事を望みます。4月週2回の練習も都合を付けて参加したい

●合唱団「道」は私にとって生き甲斐です。年齢とともに体力が弱くなってきました。でももう少し頑張りたいと思います。新型コロナウイルスの終息を願っています。

●練習不足の曲を外すなど曲数を減らす。演奏時間の短縮は必須だと思う。お客様は来ていただけるだけで短時間でも満足と思う。

- 本年不可能だった場合、次年度新指揮者と今年のステージの3ステージでやっただけですか  
1部新指揮者ステージ「道との遭遇」2部小坂先生 3部中山先生「遙かなる道」として今年の練習曲も生かして曲数は調整する
- 運営委員会の方針に賛成です。しかし現在「コロナ」が世界的な慢性状況でいつ終息するか先の見えな  
い中で4月8日からの練習が再開できても団員の多くが高齢者であり観客の大多数が高齢者です。実  
施に向けて猛練習して体制が整ってもお客様に3か月後の定演チケットを売りにくいし、購入者も限  
られた人数になってしまうと思います。また定演を延期するにもコロナの終息の時期が分かりません。  
従って今の時期無理に練習をせずに今年の定演は中止し暫く様子を見ながら通常の練習を重ねて来年  
の定演の準備をしておきたいですか。
- 歌いたいのが持病があり参加するのが不安 家族も心配しています
- 実施する場合、一部二曲カット、二部道カットした方が良いでしょう。
- 道通信 1576 参考になりました。実施した時満員御礼になるかな？ 4~5月の日曜練習仕事が入ってい  
なければいいですが。
- 合唱団を存続させましょう
- 合唱団道にとり、未曾有の緊急事態となり役員各位におかれてはいろいろご苦勞をおかけします。幸い  
にして定演ができる場合お金を頂いて聴いて頂く以上当然完成度の高い演奏が求められます。今後の  
練習でどこまで挽回できましょうか。場合によっては曲目を減らすことも考えなくてはと愚考します。  
それを仮に4月8日練習中止になりよく15日に練習ができるような場合でも定演は中止するのです  
か。もう少し弾力的に考えてもいいのでは、、、？
- 委員会の方針に従います。仕事の関係で日曜練習には参加できません。
- 4月8日に学校が借りられるか否か横浜市が今後対応を発表すると思いますが、現状ではコロナ感染が  
拡大している状況（新聞報道など）です。また、合唱団の合唱は「声をだす」という事。また人と人との  
距離をそんなに縮められないもの、一定の室の中で行うもの。それは「密閉」「密集」「密接」そのも  
のではないか。特に参加者が70代、一部80代もあるか？高齢者が殆どである。感染リスクが高く、罹  
ると危険！「クラスター」になってはいけないことは勿論です。これらの状況からみれば練習は会場も  
含めて問題があると思われれます。残念ですが。
- 練習会場の確保、イベント等自粛の緩和となれば、練習再開~51回定演実施でOKです。もし6/14定  
演が実施できなくとも、の後の全体練習ができるようになった場合、年内実施も考慮してもよいと思わ  
れます。単に定演取りやめだけでは、せつかくの練習がムダとなってしまうし、皆の期待にも沿えなく  
なると考えます。

#### 《団費の取扱いについて》

『「合唱団「道」運営規定』には定めありませんが、練習ができない場合の団費（月3000円）はどうな  
るのでしょうか？それを決めておくことが望まれます。3月分を4月分に充当するのか？4月以降も  
練習できない場合も団費を徴収するのでしょうか？

現行規定で休団費（月1000円）の規定は撤廃すべきと考えます。なぜなら団員が健康不良等で入院  
家庭療養などを余儀なくされる場合、休団費をどのように運営委員に渡すのでしょうか？まさか運営  
委員がお見舞いがてら入院先まで出向いて、本人や家族から徴収するのでしょうか？従って休団する  
場合は届出だけとし、「半年から1年間連続して休団する場合、退団とみなす」くらいで十分だと思  
います。規定内に「退団」の定めを設けるといいと思います。

例えば、団費を2か月連続して納入しない場合

「運営規定」に著しく反する行為を行った場合（他団員への迷惑行為など）  
練習会場等で会場使用規則に反する行為を行った場合（大声で叫ぶなど）  
本人の死亡または練習に参加できない疾病など

●合宿はどうなりますか？

今回定期演奏会が開催出来たとしても、その場合日曜練習を含めてかなりの日程的負担になるののでいづれにしてもやめたほうがよい。

チラシは大量に没になるので少なくとも団員には配布してほしい

プログラムは次期演奏会に何か反映できるように演奏会の内容を工夫してほしい

●台風、コロナ、指揮者、定演と難しい対応をせまられていますね。大変！ご苦労様です。

●新型コロナウイルスに関する状況は毎日変化しています。情勢の変化に敏感に対応することが大切と考えます。人命第一、健康第一、経済面の考慮を。定演の実施中止に関わらずできる範囲で練習は行う。定演の実施は難しいのではないか。理由として練習の進行状況、集客が今の状況では難しい（来ていただけない人が多くなる）

●この1ヶ月で、大小問わず様々なイベントが中止になるのを見てきました。

私個人としましては、イベント関係が縮小に向かう現状に危惧しており、少しでも開催の芽が残っている場合は全力で応援したいと考えております。

しかしながら、今回のイベントに関しては執行に踏み切るにはリスクが相当高いと見ております。まず、現在も感染が拡大しており、6月までに終息する兆しが見えないこと。

演奏者、お客様に重篤化しやすい高齢者が多いこと。

催しの特性上、演奏者がマスクをする訳にはいかないこと。

お客様へ提供するマスク、アルコール消毒が現状手に入りにくいこと。

またホールのキャパシティぎりぎりまでの集客をしなければ予算の回収ができない状況で、前の1~3列を空席にする、客席に余白を作るなどの措置を取るの難しいこと。音楽ホールの構造上、換気ができないこと。

以上の事などは運営委員などでも散々議論されたことと思いますが、私の意見としましては、練習の出来、不出来に関わらず開催に舵を切るのはかなり難しいと見ております。

つい先日も大型格闘技イベントが強行開催に踏み切り話題となっていました。この状況が続く中で開催は世間からの批判は免れないと考えております。

いま、音楽ホールの多くはキャンセルした団体に施設利用料の返却を行っておりますので問い合わせれば全額返ってくると思います。

もし開催するのであれば、本番当日及び、普段の練習から感染防止の対策を徹底すること。

練習場所は各人がスペースを取って歌えるくらい広めの場所、また、換気のために窓を開け歌っても大丈夫な場所を借りること（私はキーボードも大丈夫です。持参致します。）

また、団費を多く徴収するか赤字覚悟で集客を1/2、もしくは1/3程度におさえ、前3列を空席にする、客席の間隔を充分に開けるなどの措置は必須であると私は考えます。

団の皆様が一年に一度のこの日をどれほど大事に思っているかを見てきておりますし、そもそも、本来ならば私のような団に加わって間もない若輩者が意見をすべきではないと思うのですが、世間の状況や周囲の音楽業界の状況を踏まえた上で私見を述べさせていただきました。

運営の方々が開催できると判断したならば、私はその決定に従いたいと思います。

## 《反対の表記の方の自由記載分》

- コロナが心配 チケット買ってくれるように話しても断るといわれた チケット売りの声掛けができない等の心配があります
- 5月上旬まで静観。練習は各自で。いっせい暗譜はせず自分に合ったもののメモを持つ。お客さんも高齢、ゆったりとしたステージにしましょう。 曲目は割愛する。昨年的好评、安直な曲目をする。チラシはそのままで当日対応する。
- 道の平均年齢を考えてもリスクが高いので残念ですが、既に岐阜県の合唱団体のコロナウイルス感染者が4人も出たニュースも出ていますので安全策を取る事が大事だと思います。
- 予定通りやりたいのですが難しいのでは？曲目を減らしてやるのはそれでもよろしいのでしょうか。チラシ代も増えますが、チケット代に響きますか？マロースカは2回目なので少し覚えているので曲目に入らないのは残念。ただ指揮者の中山先生が最後ですね。このことを考えますとやりたいです。無理でしたら演奏会に代わるべき何かをしたいのですが、具体的なことは思い浮かびません。よろしくお願ひいたします。
- この状況下ではチケットを売れません。誘えない。51周年は来年に延期する（難しい問題は多々ありますが）自分は感染しないと思うが不安はある。 問2 密閉、密接、密集が重なると感染リスクが高まる。歌の練習は全て当てはまる。対策はドアや窓を開ける事しかなく心配。安心して歌える状況に早くなってほしい。休みになってからの運営委員会の対応には感謝していますが「問1」は対案がなければ反対すると言われていたみたいで違和感がある。実施と決まれば協力はします。時間が取られますが練習再開の日に先生方を含めて話し合いの場を持つのが最適と思っていましたので残念です。
- 演奏会は今の状態では残念ですけど中止すべきだと思います。練習もできてないしチケットも売れないのではと思います
- 4月8日から練習が再開できる可能性は、現状からして低いと思いますが、1ヵ月半も練習ができず、練習不足を補うために日曜日の練習も含め、週2回も練習に参加することは、団員の日常生活を窮屈にすることになり、現実的ではありません。今までにも「ソルモヴォ」に代表されるように、例年になく今年の3部の曲は仕上がりが悪く、これから完成させるのは非常に困難です。横浜を含め県内では、未だに「新型コロナウイルス」に感染されている方が、数名ですが発生しており、落ち着きを取り戻すには、まだ時間がかかるでしょう。現在の状況で、定演のチケットを友人に勧めるのは、私個人では難しいところです。これと言ってよい案がある訳ではありません。来年は青山先生の7周忌に当たる年だと思いますので、今年の定演を中止とするのであれば、「マロースカ」は来年の定演曲として頂きたいと思います。もし練習を4月8日から開始するようなことになれば、現在問題となっている①密閉空間で、②人が密に集まり、③大きな声を出すことは、万が一団員の中に一人でも感染者が出ますと、ライブハウスのように集団感染の原因となります。団員は高齢者が多いので、感染した場合は重症化しやすい年齢層です。今の時期はそういう危険を避けるべきだと私は考えます。
- おおげさかもしれませんが、世界的に危機だと言われているウィルス 感染なので早急に解決するとは思いません。4月から練習を始められるかもしれませんが 私は、練習に参加はできません、したがって今期の定演は中止にすべきかと思ひます。
- まずはコロナウイルスに伴い運営委員会の皆様には様々のご配慮ご負担ありがとうございます。心より感謝申し上げます。2月～3月いっぱい練習が中止となり演奏会の質を考えると反対します。4月8日に練習再開となり演奏会を執行する場合、チケットは無料が妥当かと思ひます。ゲストに浦野先生がいらっしゃるから有料可能との考えもあるかもしれませんが、チケット代をお客様から頂く以上練習

可能の 67 日間を練習休まずにチームワン「道」として全員の方が覚悟されるのであれば演奏会に向けて歩いていきます。脱落者を出したくないです。延期はご無理ですか。ご病気を抱えていらっしゃる方も多いのでは？

《運営委員からの意見等》

- 常時マスクを着用している毎日で練習時外して歌う事に不安あり。換気は必要。
- 演奏会を実施したい気持ちは山々ですが、3/19 日の国の発表を考えると中止にせざるを得ないと思います。1000 人近い観客が入り「うたごえ」などできないと思います。  
主催者がすべてリスクを負うという事が条件となれば無理と思われます。1 年延期が対案です。クラスターの発生源にならない保証はないですね。「道」の将来を考えても世間からの支持をなくしてはならないと思います。  
全員マスク着用、入場時の検温、手指消毒、トイレの密集緩和、座席の 1 個置き等考慮すべきかと思ひます。
- 51 周年は中山先生最後の定演なので是非成功させたい。でも決して無理をしてはいけない。中止も仕方ないと思う。今でも大阪、兵庫、愛知、北海道等でクラスターが発生している。自粛要請が出ているものの主催者の判断によるという事で経済的リスクを考えてゆりみが出ているとか。特定多数の学校や職場とは違い、不特定多数の集まるイベント開催はもし感染者が出た場合はリスクが大きい。
- 二週間前から顎関節症を患っております。治療はしていますが、なかなか改善しません。  
口を大きく開けられないため、合唱は当面無理かも知れません。練習は参加するようにします。
- 6 月定演を実施する運びになったとしても、コロナ問題が完全収束となっていない場合には「うたごえ」をカットすることを検討する。観客による発声にはリスクあり。練習会場を確保できたとしても練習に参加しない方（基礎疾患等感染リスクを心配する方）が多数出てきた場合には定演実施を見送る決定もあり得る。今後のウィルス問題の状況によってはチケット販売が困難になることも予想される。  
今後、国内のいずれかの地域でオーバーシュートが発生した場合でも全国的な活動自粛要請がなされる可能性がある。その場合にも定演中止があり得る。
- 定演中止の場合、練習した曲はどうなるのでしょうか。中止の時は 9/13（日）中区合唱祭（開港記念会館）、12/6（日）コーラル・フェスタ（みなとみらい大ホール）に参加するのは如何ですか。

多くの方の多方面からの視点で、忌憚のないご意見を頂きありがとうございました。

開催する場合も中止する場合にもそれぞれの課題がありますので、それを整理しながら、今後の運営委員会や企画選曲委員会等で充分検討していきたいと思ひます。

以上 文責 合唱団「道」運営委員長 朝倉きみ子

2020 年 3 月 27 日